



大川村まるごと！ 省エネ電球取り換え大作戦

■活動日 → 平成21年10月10・11日

■活動場所 → 大川村

■主な活動メンバー

実行委員会メンバー、大川村村民

【ホームページ】

<http://www.vill.okawa.kochi.jp/>

大川村は四国の水瓶「早明浦ダム」の水源地域であり、その水を作りだす森林が総面積の93%を占める村。しかし、近年の異常気象により降水量が減少し、ダムに沈む「旧大川村役場」がここ数年幾度となく現れ、異常湧水のモニュメントとして全国に広く知られる状況になっている。水源地を守る村としては、このことを重く受け止め、継続した森林整備だけでなく、村ぐるみで二酸化炭素の削減に努めることを決意した。

(取り組み内容)

大川村全世帯の全ての白熱球を「省エネ電球」へ交換する「大川村まるごと！省エネ電球取り換え大作戦」を行う。また、この活動を契機に将来に向けて持続して行える地球温暖化対策を考え実践していく。

◆大川村

- ・日本一小さな村（離島を除く）
- ・人口 474人 世帯数 235戸（10月末）
- ・交換する電球の数 約1200個

※大川村は省エネ電球取り換えを契機に
地球温暖化防止のトップランナーを目指す

◆省エネ電球取り換え大作戦

【開催日】平成21年10月10・11日

【作業体制】参加者約70名

第1日：11班に分かれ東半分を交換

第2日：10班に分かれて西半分を交換

【班の構成員】～各班4人～

- ・大川村職員、ボランティア村民
- ・省エネマイスター（電機商業組合）
- ・温暖化防止活動推進員、実行委員

◆イベントの開催

- ・土曜夜市を利用した取り組みPR活動
- ・大川村村民への地球温暖化防止セミナー



大川村マップ



電球の取り換え作業



土曜市でのPR活動



温暖化防止セミナー

◆まるごと省エネ電球取り換え実行委員会

高知県の温暖化防止を考える「高知県地球温暖化防止県民会議」から生まれ、下記のメンバーで構成されている。

【構成員】 大川村、高知県電機商業組合、省エネマイスター地球温暖化防止活動推進員、エコ議員連盟、賛同企業、経産省四国経済産業局、環境省高松事務所、高知県地球温暖化防止活動推進センターなど

※実行委員は電球の取り換えだけでなく、住民の方に対して省エネ電球に関する説明や家庭の省エネ相談、住民が実践している省エネのヒアリングなどを合わせて実施。

◆取り組みに対する想い

～なぜ省エネ電球取り換えなのか？～

高知県における温暖化防止の機運を高めるきっかけとして、省エネ電球の交換は安価で取り組みやすい。大川村ならまるごと全部かえられる！さらに、自治体すべての白熱球を取り換える試みとなれば全国初！話題性もあり、県内に与える影響は大きいと考え実行に移された。



村内すべて交換完了！



省エネ電球

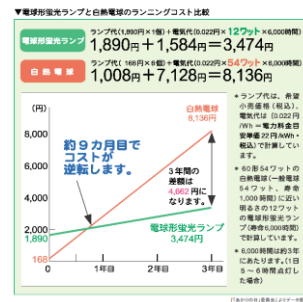


出発式の様子

◆省エネ電球の削減効果とポイント

●電球形蛍光ランプは、省エネになり節約できます

3年間のランニングコストの差額は1灯あたり約4,700円



提供：「あかりの日」委員会

選び方のポイント①

電球形蛍光ランプに交換すると省エネになります。

電球形蛍光ランプは、一般電球やボール電球と同じソケットに取り付けられる蛍光ランプです。例えば下図のように、電球形蛍光ランプは、一般電球やボール電球と比べてほぼ同じ明るさで、しかも消費電力が少なくなります。



電球形蛍光ランプは、電気代もおトク！

一般電球で電球形蛍光ランプに交換すると、消費電力が少なく、寿命が長いので、電気代がおトクになります。

提供：省エネ製品買い替えナビゲーション「しんぎゅさん」

◆取り組みのポイント

- ・実行委員会が目的に向かって一致協力して取り組む！
- ・大川村(自治体)が主催することで村民は安心感を持ち、各世帯の電球の個数など、事前に村内の状況を把握することもでき、スムーズに進められた。
- ・省エネ電球の調達に関して、高知県電機商業組合やパナソニックの全面的協力を得ることができた。
- ・全国初の取り組みと打ち出すことによって全国からの注目を得ることができた。
- ・省エネ電球への取り換えは、安価で無理なく、快適な生活を続けながら省エネができるため、家電製品の買い替えに比べて広めやすい。

■今後の展望

今回の取り組みが県内の他の自治体でも実施できる可能性があり、その広がりに期待感を抱いている。また、電球の交換だけではなく、この取り組みをきっかけに県内の温暖化防止の機運をどんどん高めていきたい。

(平成21年10月現在)